

感染症発生状況

令和5年7月7日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和5年6月26日（月）～6月30日（金）の定点における発生状況をお知らせします。
定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】667名 【職員】3名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】133名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（348名）、咳・鼻水（134名）、下痢・腹痛（51名）、嘔気・嘔吐（17名）
疾病別：気管支炎・肺炎（37名）、ヘルパンギーナ（29名）、胃腸炎（21名）、
溶連菌感染症（12名）

【職員】症状別：咳・鼻水（5名）、下痢・腹痛（3名）
疾患別：胃腸炎（3名）

**急激にヘルパンギーナを主体とする夏風邪の流行があります。
手洗いの励行おねがいします。**

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎	河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。 玉山地区、盛南地区で減少しました。
ヘルパンギーナ	玉山地区、河北地区、盛南地区、河南地区で増加しました。 都南地区で減少しました。
胃腸炎	河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。
溶連菌感染症	玉山地区、河南地区で増加しました。盛南地区、都南地区で減少しました。

【県の状況（6/19～6/25）】

新型コロナウイルス感染症は、定点あたり患者数が5.59人と再び増加し、県央・大船渡・二戸地区でクラスターの発生が計6件ありました。引き続き、手洗い・咳エチケット等基本的な感染予防対策に留意してください。県は有症者の相談や受診先を紹介する「いわて健康フォローアップセンター」や高齢者等宿泊療養施設の運用を継続して行います。

ヘルパンギーナは6週連続で増加し、中部・奥州・一関地区で報告数が警報値（定点あたり患者数6人）を超えています。発熱とどの痛み、口の中に現れる水疱性発疹を主症状とするウイルス性感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行する夏風邪の代表的疾患です。乳幼児は口内の発疹により水分を摂取しにくくなるので脱水に注意が必要です。予防には手洗いやうがいのほか、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。

手足口病は増加し、一関地区で報告数が警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。口内や手足に現れる水疱性発疹が主症状の乳幼児を中心に夏季に流行する感染症です。まれに髄膜炎等を併発することがありますので、高熱や嘔吐等がある場合は速やかに受診してください。予防にはヘルパンギーナと同様の対策が必要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】